

令和3年6月30日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 7月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

..... QRコード

校長 村上 雅基



例年より、一週間ほど遅い梅雨入りで、毎日雲の多い日が続いています。蒸し暑さを感じながらも、ここ数年の真夏の猛暑を思うと、今の季節も過ごしやすいのかなとも思います。

5月29日には、天候にも恵まれ、予定どおり「東希スポーツフェスティバル」が開催されました。徒競走やリレー、また2学年毎の集団演技など、精一杯真剣に取り組む児童の姿に感動しました。

6月は、体カテストも行われ、子どもたちがテスト用の音楽に合わせて、熱心に取り組んでいました。6月4日には、はまっこ交通安全教室も1・4年生を中心に行われ、安全な歩行のしかたや自転車の乗り方について、旭警察の方から話を伺いました。また、6年生は租税教室が行われました。6月11日には、3年生がシルク博物館、4年生が横浜市防災センターへ行きました。コロナ禍でも感染対策を充分に行いながら学校行事を実行できることがわかってきていて、さまざまな行事を実施しています。

しかしながら、神奈川県「新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置」が、7月11日まで延長されたため、「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」に沿って、6月28日からの5年富士宿泊体験学習、7月11日からの6年日光修学旅行が10月に延期となりました。日程は裏面をご覧ください。

「GIGAスクール構想」の一環で、6月21日の週から、各学級で一人一台のiPadの使用がはじまりました。授業の様子を見に行くと、全員が机の上にiPadを置き、調べ学習などを行っている姿に、時代の進化を感じました。今の小学生が大人になった頃はどのような教育がなされているのでしょうか。

先日テレビを観ていたところ、「身近な便利なものを発明した人」をテーマにした番組に遭遇しました。その中の一つに、「バーコードを使用する会社の社員が、一つの作業をするのに、8つのバーコードを使用せねばならず、時間がかかり、効率が悪い。どうにかできないものか。」という状況の中、休憩時間に、仲間と囲碁をしていたところ、「これだ」とひらめき、1994年にQRコードを発明したとのことでした。今では、全世界で当たり前利用されているQRコードが、囲碁からひらめくことに、その方の偉大さを感じました。毎日の生活の中で、「さまざまな体験から柔軟な発想が持てるような教育」の大切さを実感しました。